

大塚敬節
矢数道明
責任編集

世漢方医学書集成

23 本間棗軒三

名著出版
刊



南京中医药大学图书馆版权所有

近世漢方医学書集成 第I期・全30卷

ISBN4-626-00072-X C3347

近世漢方医学書集成 23 本間棗軒(三)

第I期
全30卷

昭和五十四年十一月二十二日第一刷発行
昭和六十一年四月二十五日第二刷発行

編者 大塚敬節

発行者 中村安孝

発行者 株式会社 名著出版

東京都文京区小石川三ノ十ノ五
電話東京(八一五)一二七〇番代
振替口座 東京七一二七四九番

製版所 株式会社 日本写真製版所

印刷所 伊藤印刷

製本所 株式会社 辻本製本



予約限定版

落丁本・乱丁本はお取替えます。

ISBN4-626-01216-7 C3347

責任編集

大塚 敬節

矢数 道明

編集委員

山田 光胤

寺師 睦宗

大塚 恭男

矢数 圭堂

松田 邦夫

凡 例

一、本書第二十三卷「本間棗軒(三)」には、『療治知要』『種痘活人十全弁』を収録した。

一、本書は全て影印版によって収録したが、影印にあたっては次のようにした。

イ、新たに柱と頁数を付した。

ロ、底本を縮少し、一頁に半丁ずつ収めた。但し、『療治知要』は原寸大。

ハ、裏表紙や記事のない白紙は省略した。

二、版本の場合、本文中の蔵書印及び所蔵者による書き込み等は省略した。但し、写本の場合はその限りではない。

一、底本は次の通りである。

療治知要 大塚敬節所蔵写本 一冊

種痘活人十全弁 版本一冊(富田泰氏所蔵)

一、本書収録書目の解題については、第二十一卷「本間棗軒(一)」に記した。

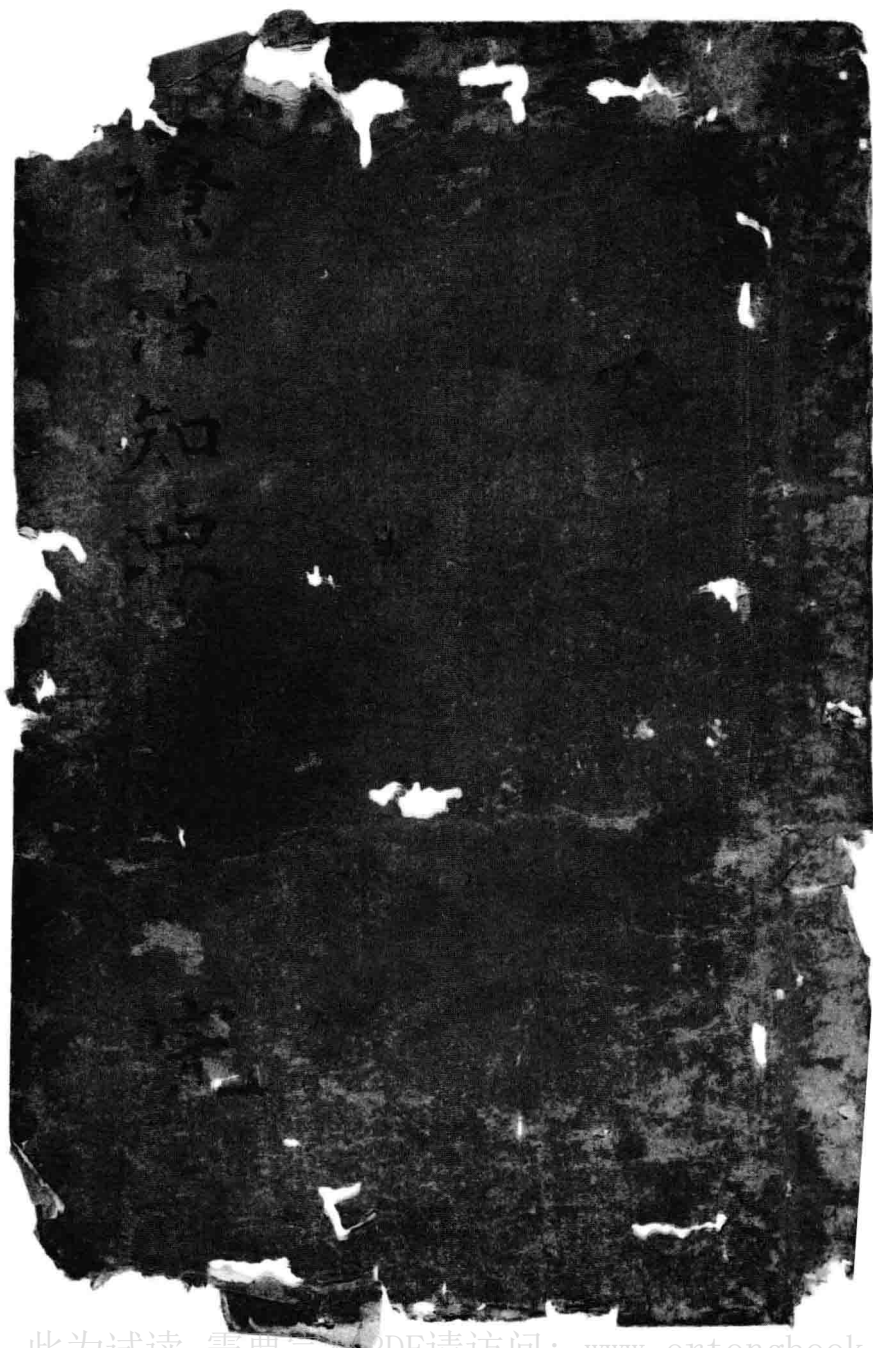
本間棗軒三

目次

凡例	三
療治知要	三
序	五
卷之一	九
以部	九
辺部	七
呂部	三
波部	三
仁部	五
保部	六
卷之二	七
土部	七
遠部	一四
知部	八
和部	一六
利部	九
加部	一〇
奴部	一〇
留部	一〇
卷之三	一七
与部	一七
禰部	一八
乃部	一五
奈部	一八
久部	一六
也部	一六
末部	一六
太部	一五
礼部	一四
良部	一五
曾部	一四
武部	一五
津部	一四
宇部	一五
卷之四	一六

計部……………	一六	不部……………	一八	己部……………	一九	天部……………	一九	安部……………	二二
左部……………	二三	幾部……………	二五	由部……………	二七	目部……………	二八	美部……………	二八
卷之五……………									二九
志部……………	二九	惠部……………	二五	比部……………	二七	毛部……………	二五	世部……………	二五
寸部……………	二六								
後……………									二五
種痘活人十全弁……………									二六

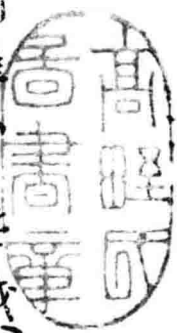
療治知要





療治知要序

晉朱伺曰、諸人以古擊賊、伺惟以刀擊賊、
嗟乎、以古擊賊、此馬服子所以賊也、豈翅
兵哉、如匡亦爾、原失疾痼之於變化、千種
萬端、莫有窮極、治之之法、有定而無定、與
用兵奚異、雖有兵法、運用之妙、固存乎心、
雖有醫方、馳使之宜、亦存乎心、是豈放言
侈談、徒騰口說者之所能為哉、我藩醫



宮本間啓和卿夙齡貢策上国、後諸名臣
而遊、博學臨聞、聲價日盛、平生潛心濟生、
兼通內外諸科、治者屢恒盈戶、庭計
年所救治者、殆二千人、又善種痘之術、
下嬰孩、藉之保全甚多、療治知要、上卷、即
其所編纂也、以國字分病門、隸以病因治
法、闡卷則疾病之十種、萬品、名目浩繁者
祭如列眉、無復所遺、至其方劑、皆和卿積

年所試驗、猶訓練之兵、用之必勝者也。余
嚮承乏醫學、日典和卿固旋和卿貫穿五
籍、論辨雄博、一生為之傾倒、不知者、遠聽
之、或疑其類于馬服子之譚兵、而其潛心
涵生、實效是務、救治之多如此、亦所謂
以刀擊賊者非耶、至其著作、蓋亦圓機活
套、應變無窮、而無膠柱鼓瑟之弊也。審矣
今也、是書流四方、枝之士、奉為主臬、以

之臨病每戰奏捷則其功必不在俞大猷
戚繼光諸書之下、余何不樂序而道之、

嘉永二年己酉、季夏、水藩侍讀弘道館
助教、兼彰考館編修、森蔚拜撰、

自準亭療治知要卷之一

水戶

本間玄調和辨著

○以部

胃脘痞
素問

胃痞

痞能局曰熱聚於胃中而不行故胃脘為痞也○聖誥總錄曰寒熱^如痞身皮甲錯或欬或嘔或唾膿血○準繩曰一胃子寒熱